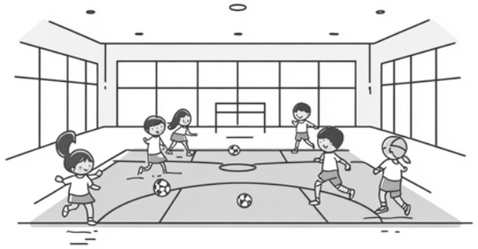
公共施設における空調設備の整備、キリシタン資料館における民間活力の推進について

中尾　友二　（新風天草）

【公共施設の空調設備にかかる地域タイムラグ解消について】

問　整備にあたり地域差の解消は。また、施設の長寿命化に対する考えは。

答　市民の皆様の安心・安全な生活を守るためにも空調設備の整備のみならず、必要な施設の修繕や改修・解体等については地域ごとに優先順位を設定し、計画的に取り組んでいくことが必要であると考えている。引き続き、各施設の所管課との連携を図りながら、天草市公共施設等総合管理計画などに沿った運営と必要な計画の見直しを行いながら長寿命化を図るためにも必要となる整備をしっかりと進めていく。



【キリシタン資料館における民間活力の推進の方向性について】

問　資料館運営において、資料管理は行政が担い、情報発信や集客・企画運営は民間活力を導入する考えは。

答　資料管理は行政が担い、民間活力の導入に関する今後の方向性については、さまざまな事例などを検討している。企画運営は民間が行う方法など、本市資料館の現状や課題等を十分に踏まえ、よりよい効果やメリットが生み出せる仕組みの運営方法を見いだしたい。キリシタン資料館運営委員会の意見も聞き、今年度末までには今後の方向性を決定したいと考えている。

地域医療DXにおけるオンライン診療について

小川　圭三　（天政会）

【オンライン診療の導入について】

問　高齢者の免許返納や公共交通機関の減便・路線廃止などにより病院への受診が簡単にできなくなり、不便を感じている市民が多くなった。そうした課題解決のため、河浦病院では「医療ＤＸ基本計画」を策定し進めているが、その理由は。

答　今後も超高齢化が進む中、独居や高齢者のみの世帯の増加が予想され、通院できなくなった患者に寄り添ったオンライン診療や訪問診療など「出かける医療」の提供を行うことを目的に策定した。

問　河浦・天草地域にアンケート調査を実施しているが、その経緯と結果は。

答　地域課題や住民ニーズを把握するため2,248世帯を対象に実施した。オンライン診療には、病院までの距離が遠く、路線バスなどの公共交通機関がない方や便数が少ない地域の方が興味を持たれ、「利用したい」と回答されている。

問　先進地の小国公立病院を視察し、実際の診療現場で流れを見学した。本市としてどういった診療を目指すのか、今後の取組は。

答　本市のオンライン診療は、看護師が出向き患者のサポートを行いながら病院にいる医師が診察するもので、場所は診療車や自宅、集会所など地域に合うものを検討する。また、この診療は試行的段階で診療報酬も十分ではないが、医療提供のセーフティネットを構築するのも公立病院の使命であると考える。

▲オンライン診療車（小国公立病院）

QRコードで質問の動画が見られます

天草市のごみ処理施設について 久玉城について

浜崎　昭臣　（政友会）

【天草市のごみ処理施設について】

問　牛深クリーンセンターと牛深一般廃棄物最終処分場の今後について問う。

答　牛深クリーンセンターは、ごみ中継施設に改修し運営を継続する。また、牛深一般廃棄物最終処分場は新ごみ処理施設の供用開始後に廃止に向けた手続きを進める。

問　牛深クリーンセンターは現状のまま継続または新たに整備すべきでは。

答　ごみ焼却施設として存続、または新たに整備することは考えていない。

【久玉城について】

問　熊本県指定史跡で重要な歴史的意義を持つ久玉城跡の本格的な発掘調査をできないか。

答　相当な理由がない限り、発掘行為は制限されている。今後、国史跡追加指定に向けて必要が生じれば適切に実施する。

問　棚底城跡の次は天草市内の城跡で最初に県指定を受けた久玉城跡にすべきでは。

答　棚底城跡との強い関連性を考慮して優先順位を定めており、史跡棚底城跡保存管理計画では優先調査対象を上津浦城跡、栖本城跡とし、その後に久玉城跡を含むその他の城跡の順としている。

要望　史跡棚底城跡保存管理計画と別に久玉城跡の調査を県へ依頼してもらいたい。また、南の玄関口牛深が埋没しないためにも、地域振興、観光振興の面からも久玉城復活が大変重要であるため市長にも強く要望する。

▲久玉城跡の石垣

牛深ハイヤ節について 本渡中学校の駐輪場の強風対策について

門口　徹　（政友会）

【牛深ハイヤ節について】

問　熊本県指定重要無形民俗文化財の指定要件は。

答　熊本県文化財保護条例では、「県民にとって重要なものを指定することができる」とあり、県指定の基準を満たす価値を有することを証明する必要がある。

問　牛深ハイヤ節が、県指定重要無形民俗文化財へ指定される可能性はあるのか。

答　牛深ハイヤ節が、全国ハイヤ系民謡の源流として人々の生活に与えた影響は大きく、その重要性が認められれば十分に指定の可能性がある。

要望　一刻も早く、県指定重要無形民俗文化財の指定に向け、取り組んでいただくことを要望する。

【本渡中学校の駐輪場の強風対策について】

問　強風により駐輪場の自転車が倒れているという現状の把握とこれまでの対策は。

答　生徒や保護者からの学校への被害相談や教育委員会への連絡はないが、強風で自転車が倒れる等の事実は把握している。

　これまでに自転車止めを設置し検証したが、課題があり運用に至っていない。

問　今後の強風対策の対応は。

答　学校と協議を行い、新たな防風フェンスの設置など自転車転倒対策への必要な整備を進めていく。

要望　早い段階で対応いただくことを強く要望する。

▲強風で転倒した自転車